THE RECORD

RIAJ 社団法人 日本レコード協会

RECORDING INDUSTORY ASSOCIATION OF JAPAN

平成6年8月1日発行

〒104 東京都中央区築地2-8-9 Tel (3541) 4411(代)

平成6年8月号 No. 417

# 第4回国際レコード技術会議開催

## ～日米欧レコード産業の絆、一層強固に～

去る7月7日、8日の両日、ロンドン「ハイド・パーク・ホテル」において、「国際レコード技術会議」が開催されました。

この技術会議は、1990年から原則として毎年一回開催されており、IFPI（国際レコード産業連盟）、RIAA（米国レコード協会）及びRIAJ（日本レコード協会）とが輪番で主催して来たもので、従来は「IFPI／RIAA／RIAJ合同技術会議」と呼称されてきましたが、今回から欧州代表も正式に参加することになったため、会議の呼称が改められました。

会議場風景

今回の会議には、主催のIFPIから4名、米国（RIAA）代表・8名、欧州レコード会社代表・8名、当協会からは高野技術委員長のほか5名、合計26名が出席しました。

会議は、予め準備された議題に従って活発な討議と情報交換が行われ、レコード産業が抱える技術的諸問題についての共通の理解と認識が深まりました。

特に、今回の会議の中心議題となった「民生用CD－R問題」については、著作権保護と海賊対策との関係から討議が行われた結果、国際的な共通問題として日・米・欧のレコード産業がより一層連携を深めて、問題の解決に努力して行くことが確認されました。

主な会議の内容は、次のとおりです。

［第1日会議］

**①民生用CD－R問題**

・RIAJが実施した「民生用CD－Rの市場導入によるレコード産業に及ぼす影響度の予測調査」の概要報告。

・国際規格化及び立法化を図るべき「技術的海賊防止対策」の協議。

**②CDの高付加価値化**

前回会議で設置されたプロジェクトの一つである「CDの高付加価値化」に関するRIAJ作成の「予備報告書」の内容説明と討議。

**③ベースバンド・シグナリング・システム**

高野技術委員長を中心とした日本よりの参加者

「アテネ合意文書」に盛り込まれた検討課題の一つである「アナログ迂回対策」として、RIAAが開発を進めて来た研究成果の報告。

**【第2日会議】**

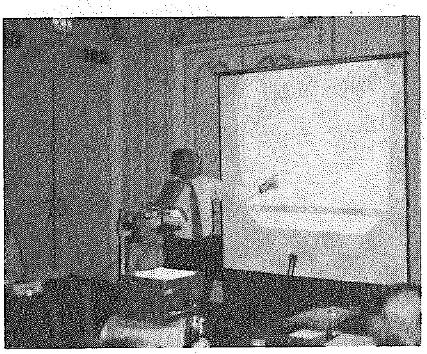
**④ISRC／SIDコードの推進**

・IFPIが構築した「ISRCデータベース」に関する報告、日本における実施状況の報告と各国の情報交換。

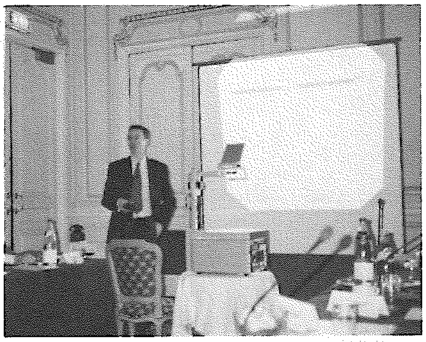
・国際的な海賊対策として実施することになった「SIDコード」の普及促進活動に関するIFPIの報告と情報交換。

**⑤環境問題**

環境問題、省資源化に関する欧米諸国の法規制の動向と、レコード産業の対応方法に関する情報交換。



RIAAよりのプレゼンテーション



IFPIよりのプレゼンテーション

**⑥データ保存・管理システム**

データベース化とネットワークによる音源（マスタ）の保存・管理及び利用システムに関する欧州代表の研究報告。

**⑦高密度化CD**

CDの高密度化に関する技術開発動向についてのRIAJ報告と意見交換。

**⑧コンピュータ利用による音楽供給システム**

世界的に普及しつつあるコンピュータ・ネットワークを利用した音楽配給システムに関するRIAA報告と意見交換。

**⑨情報交換**

・店頭監視システムに関するその後の検討状況報告（RIAA）

・日本レコード協会規格「CD用CD－Rマスタ運用基準（RIS105）」（RIAJ）

・RIAJ技術委員会の活動概要報告（RIAJ）。

以上

## マルチメディア問題に関する著作権連絡協議会設立

昨秋、著作権審議会マルチメディア小委員会はマルチメディアに関する著作権問題について、第一次報告書を纏めました。そのなかで、マルチメディア・ソフト製作者と権利者間で権利処理の在り方について協議する団体を形成することを提唱しました。

この提言に沿って、権利者側の団体として「マルチメディア問題に関する著作権連絡協議会」が設立されました。

本年1月25日、同協議会の設立準備会が開催され、当協会を含む10団体が幹事となって設立準備を進めることとなりました。第1回の幹事会が3月17日に開催され、その後数回の幹事会によって会則等を作成しました。そして7月1日、設立総会が開かれ、同協議会が正式に発足しました。

当初は、当協会、音楽著作権協会、音楽出版社協会などの音楽関係、NHK、民放連の放送関係、日本美術家連盟、日本グラフィックデザイナー協会の美術関係、日本書籍出版協会、日本新聞協会などの出版・新聞関係、日本文芸著作権保護同盟、日本シナリオ作家協会などの文芸関係、その他写真、コンピューターソフト関係などの20の権利者団体が会員となりました。

同協議会の設立については、権利の集中処理機構の構築を期待する向きもありましたが、処理機構の構築を前提とはせず、マルチメディアに関する情報交換・諸問題の研究ならびにマルチメディア・ソフト製作者側との協議・意見交換を中心とした活動を行うことが合意されました。

代表幹事にJASRACの北田常務理事、副代表幹事にNHKの射場著作権部長と丹野全日本写真著作者同盟特別委員が選任され、当協会の木村常務理事も7人の幹事の一人に選任されました。

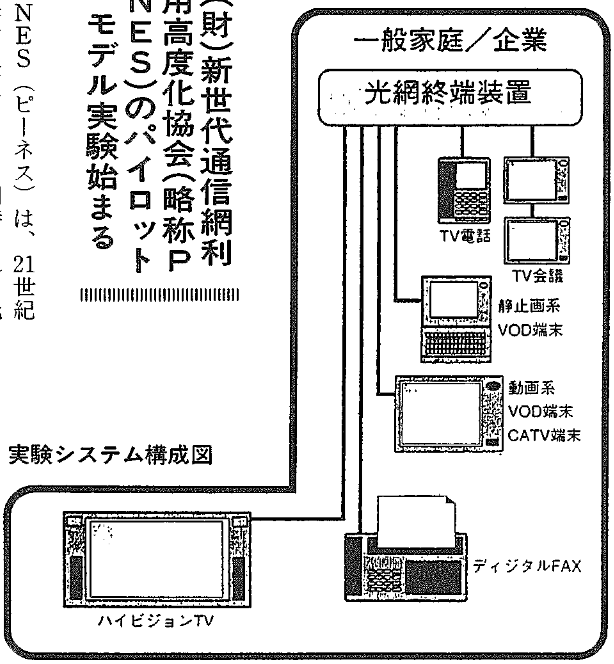
なお、近日中に、マルチメディア・ソフト製作者側も同じような連絡協議会を結成することになっています。

## (財)新世代通信網利用高度化協会(略称PNES)のパイロット・モデル実験始まる

PNES（ピーネス）は、21世紀の基幹的通信網として期待される光ファイバー等による通信網の利用面、技術面の様々な課題を、実験等を通じて解決することを目的に、郵政大臣の許可を得て設立された財団です。

PNESは今回、関西文化学術研究都市の一部（京都府相楽郡精華町光台およびその周辺の一般家庭約3百所帯および企業）に光ファイバー・ケーブルを設置し、通信と放送の統合を目指したサービス実験を行ないます。サービスの内容は、通常の放送、CATVの他ハイビジョン放送、TV電話、TV会議やビデオ・オン・デマンド（VIDEO ON DEMAND視聴者の求めに応じて番組を提供すること。）等です。この実験は、平成6年7月8日から3年間行なわれます。

なお、当協会も放送番組の供給に関してこれに協力しておりますが、新たな権利設定を要望中の「送信権」にも係ることと考えられます。




実験システム構成図

## Q盤キャンペーンアンケート結果まとまる

Q盤プロジェクトでは、この5月より実施の〝Q盤キャンペーン〟第一弾に関するアンケート調査を販売店の皆様を対象に実施しましたが、その集計結果がまとまりましたので概要をお知らせします。

（7月10日現在／回答数294）

●お客様の反応は
良かった172／普通　100
悪かった　11／未回答　4

●中高年齢層のお客様は
増えた　40／変わらない196
不明　52／未回答　6

●新聞広告について
良かった　75／普通　151
悪かった　15／見ていない53

●実施時期について
良かった159／悪かった　98
未回答　37

●キャンペーンの継続は
希望する198／希望しない89
未回答　7

●Q盤特設コーナーは
設けた　182／設けない112

＊特設コーナーを設けた182店に対しての質問

○売上への貢献は
できた　76／できない　42
不明　64

○キャンペーンの継続は
希望する144／希望しない33
未回答　5

○「Q盤大辞典」の評価は
良かった　120／普通　51
悪かった　4／未回答　7

第一弾のキャンペーン開始後、一か月強ということもあり、直接的な売上貢献の手応えを実感している販売店は全体の30％程ですが、約60％の回答には、〝お客様の反応は良かった〟となっており、また、約70％の回答が〝キャンペーンの継続を希望する〟となっていることは、心強いことです。

更に、〝Q盤特設コーナー〟を設けた販売店では、売上貢献を始めとし、キャンペーンに対する評価も、設けなかった販売店とは大きな違いが見られます。

プロジェクトでは今回のアンケート結果を参考に、次回以降のキャンペーンに向けて引き続き、検討を重ねて行きます。

## 関東地区著作権研修講座開催される

同講座は、社団法人著作権情報センター主催により毎年行われていますが、今年は7月14、15の2日間、那須において開催されました。

今回は、文化庁の講師による基礎講座「著作権と著作隣接権制度の概要」の時間を短縮し、協賛団体講師による「実務面から見た著作権・著作隣接権」のテーマで3つの分科会が行われ、権利の概要、権利行使の実態、現状における問題、今後の課題等について解説、質疑応答が行われました。

分科会は、音楽（JASRAC、芸団協、レコード協会の講師）、視聴覚著作物（NHKの講師）、コンピュータソフトウェア（コンピュータソフトウェア著作権協会の講師）の各分野に分けて行われました。

また、「マルチメディア時代の著作権」に関する興味深い講演が、著作権審議会マルチメディア小委員会の委員でもある、弁護士の松田政行氏によって行われました。

今年の講座には110名前後の受講生が参加しましたが、従来とは趣を異にした内容が好評を得ました。

尚、10月には関西地区の研修講座が、京都で行われる予定です。

## 関係官庁の人事異動

**文化庁**（7月25日付）＊（　）内は前職

文化庁長官　遠山敦子氏（文部省高等教育局長）、長官官房総務課長　鬼島康宏氏（文部省高等教育局私学部私学行政課長）、文化部芸術文化課長　齊藤秀昭氏（文化部地域文化振興課長）、文化部地域文化振興課長　土居正氏（文部省大臣官房付）、文化部著作権課課長補佐　作花文雄氏（文部省初等中等教育局高等学校課課長補佐）

なお、内田弘保前文化庁長官は勇退、中西釦治前長官官房総務課長は東京芸術大学事務局長、板橋一太前文化部芸術文化課長は文部省高等教育局企画課長、関裕行文化部著作権課課長補佐は文部省初等中等教育局教科書課教科書企画官にそれぞれ異動されました。

**公正取引委員会**（7月1日付）

首席審判官　植松　勲氏（取引部長）、審査部長　矢部丈太郎氏（経済部長）、取引部取引部長　大熊まさよ氏（近畿事務所長）、取引部取引課長　鈴木恭蔵氏（審判官）、官房総務課長　上杉秋則氏

なお、鈴木満前首席審判官は勇退、本条昇前官房総務課長は近畿事務所長に異動されました。

**通産省**（7月1日付）

生活産業局長　江崎格氏（総務審議官）、大臣官房審議官　佐瀬正敬氏（特許庁総務部総務課長　7月11日付）大臣官房審議官　中野正考氏（通商政策局国際経済部長）

生活産業局生活産業局文化用品課長　吉本孝一氏（調査統計部統計解析課長）

なお、上野裕前文化用品課長は、貿易局輸入課長に異動されました。

**国税局**（7月11日付）

調査三部長　宮崎正人氏、26部門統括国税調査官　横内康矩氏、26部門総括主査　金打秀也氏

## 文化庁の機構改革について

当協会所管官庁である文化庁でこの度機構改革が行われましたのでお知らせします。7月1日をもって、文化部文化普及課及び芸術課が改組され、新たに芸術文化課と地域文化振興課が設けられました。従来、当協会は文化普及課の所管でしたが、今後は芸術文化課が所管課となります。

## 代表者交替について

当協会会員社のNECアベニュー株式会社、株式会社メルダックにおいて代表者の交替がありましたのでお知らせします。

○NECアベニュー㈱
新任　小林淳二氏
退任　中野誠二氏

○㈱メルダック
新任　川合眞治氏
退任　山岡重晃氏

### 会議メモ（主なもの）

（7月1日～7月31日）

| | |
|---|---|
| 7・1 | 法制委員会 |
| 7・5 | 二次使用料委員会 |
| 7・8 | レコード制作基準倫理委員会 |
| 7・11 | Q盤プロジェクト |
| 7・12 | 営業部会 |
| 7・13 | ビデオ部会プロジェクト |
| 7・13 | 著作権部会 |
| 7・14 | 経理部会 |
| 7・14 | 宣伝部会プロジェクト |
| 7・14 | 消費者専門部会 |
| 7・15 | 資材専門部会 |
| 7・19 | ビデオ部会 |
| 7・19 | 労政部会 |
| 7・20 | 業務委員会 |
| 7・20 | 宣伝部会 |
| 7・21 | 消費者専門部会 |
| 7・21 | 洋楽部会 |
| 7・22 | 理事会 |
| 7・22 | 洋楽宣伝部会 |
| 7・22 | 邦楽制作部会 |
| 7・25 | 廃盤セール研究会 |
| 7・26 | 情報システム部会 |
| 7・28 | 需要拡大委員会 |

## 日本レコード協会ヒットチャートデータによるランキング

平成6年6月度（5月21日～6月20日）のヒットチャートデータがまとまりました。これによる各ランクの5位までは次のとおりです。

| 順位 | タイトル | アーチスト | 発売元 |
|---|---|---|---|
| | **邦楽・洋楽合同シングル5位** | | |
| 1. | Survival dAnce ～no no cry more～ | trf | (AV) |
| 2. | 世界が終わるまでは... | WANDS | (BG) |
| 3. | 空と君のあいだに／ファイト！ | 中島みゆき | (PC) |
| 4. | innocent world | MR. CHILDREN | (TF) |
| 5. | 2つの願い | 槇原敬之 | (WJ) |
| | **洋楽シングル5位** | | |
| 1. | イフ | ブレッド | (WJ) |
| 2. | グッディ・グッディ | リセット・メレンデス | (SME) |
| 3. | アイ・ニード・ユア・ラヴ | ボストン | (MV) |
| 4. | ベイビー・アイ・ラヴ・ユア・ウェイ | ビッグ・マウンテン | (BV) |
| 5. | リアル・シング | 2アンリミテッド | (PH) |
| | **邦楽・洋楽合同アルバム5位** | | |
| 1. | OH MY LOVE | ZARD | (BG) |
| 2. | 終わらない夏に | チューブ | (SME) |
| 3. | ON AND ON | 福山雅治 | (BV) |
| 4. | GUITARHYTHM IV | 布袋寅泰 | (TO) |
| 5. | DELICATE PLANET | access | (FUN) |
| | **クラシックアルバム5位** | | |
| 1. | 「グレゴリアン・チャント」 | シロス修道院合唱団 | (TO) |
| 2. | ひばり | 古沢 巖 (Vn) | (SME) |
| 3. | ザ・ピアノ・コンチェルト | マイケル・ナイマン | (PO) |
| 4. | ドヴォルザーク：交響曲第7番、第8番 | オトマール・スウィトナー指揮／シュターツカペレ・ベルリン | (TJC) |
| 5. | ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」 | オトマール・スウィトナー指揮／シュターツカペレ・ベルリン | (TJC) |
| | **洋楽アルバム5位** | | |
| 1. | トゥルー・トゥ・ライフ | リセット・メレンデス | (SME) |
| 2. | KISSトリビュート | オムニバス | (PH) |
| 3. | Music Box | マライア・キャリー | (SME) |
| 4. | ライオン・キング | オリジナルモーション・ピクチャー・サウンドトラック | (PC) |
| 5. | プライド・アンド・グローリー | プライド・アンド・グローリー | (MV) |

※日本コロムビア(C)／ビクターエンタテインメント(V)／キングレコード(K)／テイチク(TE)／ポリドール(PO)／東芝EMI(TO)／日本クラウン(CR)／徳間ジャパン(TJC)／ソニー・ミュージックエンターテインメント(SME)／日本フォノグラム(PH)／ポニーキャニオン(PC)／ワーナーミュージック・ジャパン(WJ)／アポロン(AP)／フォーライフレコード(FL)／バップ(VAP)／トーラスレコード(TA)／ポリスター(PS)／アルファレコード(AL)／キティエンタープライズ(KT)／ファンハウス(FUN)／イーストウエスト・ジャパン(EW)／BMGビクター(BV)／NECアベニュー(NA)／WEAミュージック(WEA)／メルダック(ME)／ハミングバード(HB)／TDKコア(TDK)／メディアレモラス(MR)／AXEC(AX)／トイズ・ファクトリー・レコード(TF)／バンダイ(BC)／パイオニアLDC(PI)／MCAビクター(MV)／ロックイットレコード(RO)／エイベックス・ディー・ディー(AV)／ビージン(BJ)／ヅァインレコード(ZA)／BMGルームス(BM)／ビーグラム(BG)／ワン・アップ・ミュージック(EP)

### 6月度「ゴールド・アルバム」他認定作品

6月度のゴールド・アルバム他が次のとおり認定されました。

**アルバム**（11作品）

**クワドラプル・プラチナ**
NOW！1／クイーン他（TO）

**トリプル・プラチナ**
OH MY LOVE／ZARD（BG）

**ダブル・プラチナ**
終わらない夏に／チューブ（SME）

**プラチナ**
ON AND ON／福山雅治（BV）
GUITARHYTHM IV／布袋寅泰（TO）
HYPER MIX III／trf（AV）
トゥルー・トゥ・ライフ／リセット・メレンデス（SME）

**ゴールド**
DELICATE PLANET／access（FUN）
MISSION／TOSHI（BV）
スウィーテスト・イリュージョン／BASIA（SME）
CRASH！BOOM！BANG！／ロクセット（TO）

**シングル**（15作品）

**ダブル・プラチナ**
空と君のあいだに／ファイト！／中島みゆき（PC）

**プラチナ**
純愛ラプソディ／竹内まりや（EW）
innocent world／MR. CHILDREN（TF）
君だけを見ていた／To Be Continued（SME）
そばにいるよ／前田亘輝（SME）
世界が終わるまでは...／WANDS（BG）
survival dAnce ～no no cry more～／trf（AV）
LOVE／T-BOLAN（ZA）
ホール・ニュー・ワールド／レジーナ・ベル&ピーボ・ブライソン（SME）

**ゴールド**
2つの願い／槇原敬之（WJ）
ORIGINAL SMILE／SMAP（V）
いつの日か／矢沢永吉（TO）
Sea Paradise～OLの反乱～／中山美穂（K）
ひとり酒／伍代夏子（SME）
永遠の素顔／class（AP）

# 世界の話題

## アメリカ

### ■演奏権法案ヒアリング

8月の通常国会休会の前に、レコード産業の演奏権法案の最終ヒアリング日を設けると情報筋は、伝えました。

議論の余地のあるこの法案の最終セッション(6/30)は、小委員会委員長が延期しました。

情報筋によると、国内放送事業者協会(NAB)は、キャンセルされたヒアリングに備え、改正提案をするために何人かの小委員会委員を揃えました。改正内容は、伝統的な放送事業者によるレコードのディジタル送信については、許諾を得る義務を免除するというものです(従って、将来の可能なライセンス使用料フィーが無効になる)。別な筋は、小委員会委員長は、定足数を満たさないことを危惧している、と伝えています。

NABは、放送事業者に対する免除を2年ごとに見直す国会図書館・著作権局の権限を、小委員会が縮減することも要望しています。

立法化の動きが滞っている間、NABは傘下放送事業者に対し、各事業者の地域を代表する小委員会メンバーに書状を出すことを要請しました。

NABの副会長、政府関係者のジム・メイ氏は、以下のように述べます。「ムーアヘッド氏の放送事業者の免除が目一杯ある改正案を援助することだけだ。」

### ■BMI放送使用料裁判所決着へ

6月30日、司法省の公正取引部は、放送事業者とBMIが、音楽の商業使用について使用料の交渉ができなくなった時の支払額の決定について、裁判所に権限を与える仮の承認を与えました。

司法省は、1966年の判決の変更提案に対し、BMIと放送局であるライセンシーが料金の合意に至らない時は、料率裁判所が適正な使用料率を設定する事を可能にするメカニズムに同意しました。

裁判所の記録の中で連邦政府は以下のように述べています。「そのような料率裁判所は、他の演奏権団体ASCAPの許諾問題の解決に長い間利用されてきた。」

公正取引部のビンガマン氏は、「BMIは、ASCAPと同様、許諾料問題の法的解決の機会を与えられるべきである。」と述べています。

(ビルボード　'94/7/16)

## イタリア

### ■海賊版業者取締活動の成果

イタリア当局の監督下、ミラノの裁判所の命令に基づいて差押え執行を行うため、最大規模の海賊対策活動が行われました。IFPI会員を代表するIFPIとFIMI(イタリアの協会)の告訴に応じ、ミラノを本拠地として、オン・ステージ・レーベルの海賊版を発売していたサラバンダス・インターナショナルS.R.L.、及びその販売を行っていたSaar S.R.L.から、6万枚(本)以上のCDとカセット及び関係会社の書類が、併せて押収されました。

これらのレコードのうちの幾つかが、既にいろいろなレコード会社によって発売されたレコードのコピー版であるとの証拠に基づき、イタリアの反海賊法の規定によって、著作権侵害として罰せられました。Saarパッケージの多くは、実際は人気アーチストによる正規のコンサート録音からのコピーであったにも拘らず、名前とコンサートの日付を変えて、ブートレッグ(無許諾のライブ録音)に見せかけていました。

IFPIは、許諾団体とプレス工場がタイトル関連書類について、製造許諾に先立つ注意深いチェックをすることと、レコード店の購入者に対する厳重な警戒を呼びかけるキャンペーンを実施しています。オン・ステージの製品は、イタリアのSIAE(イタリア著作権協会)のロゴを付けており、全世界の市場で発見されています。幾つかの国のIFPI賛助グループは、既にレコードの製作者として、オン・ステージ・レーベルの複数の販売業者対して訴訟を起こしています。

IFPIの法律顧問のマーゴ・ラングフォードは、「今回のように、無許諾のレコードが小売店で入手できるケースの場合、明らかな損失をもたらす。レコード会社とアーチストは、Saar版によって売上げとロイヤルティの損失に直面した。消費者は、既に購入したアルバムとSaarのカバー・アルバムとが偽装パッケージのために区別ができず、欺かれている可能性がある。」と述べました。

(IFPIプレス　'94/6/28)

# 1994年 6月レコード生産実績

単位　数量：千枚・巻
　　　金額：百 万 円

表1．オーディオディスク

| | | | 6月実績 数量 | 構成比 | 前年同月比 | 金額 | 構成比 | 前年同月比 | 1994年（1月～6月）累計 数量 | 構成比 | 前年同期比 | 金額 | 構成比 | 前年同期比 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| CD | 8センチ | 邦 | 10,007 | 31 | 86 | 6,386 | 15 | 100 | 64,490 | 38 | 84 | 42,181 | 20 | 88 |
| | | 洋 | 269 | 1 | 262 | 154 | 0 | 250 | 1,300 | 1 | 94 | 703 | 0 | 83 |
| | | 計 | 10,276 | 32 | 87 | 6,540 | 15 | 101 | 65,790 | 39 | 85 | 42,884 | 20 | 88 |
| | 12センチ | 邦 | 13,636 | 42 | 137 | 24,560 | 56 | 140 | 65,384 | 38 | 100 | 113,052 | 52 | 98 |
| | | 洋 | 8,249 | 26 | 134 | 12,889 | 29 | 140 | 39,126 | 23 | 111 | 59,193 | 27 | 112 |
| | | 計 | 21,885 | 68 | 136 | 37,449 | 85 | 140 | 104,510 | 61 | 104 | 172,245 | 80 | 103 |
| | 小計 | 邦 | 23,644 | 73 | 109 | 30,946 | 70 | 129 | 129,875 | 76 | 91 | 155,233 | 72 | 95 |
| | | 洋 | 8,518 | 26 | 136 | 13,043 | 30 | 141 | 40,426 | 24 | 110 | 59,896 | 28 | 111 |
| | | 計 | 32,161 | 100 | 115 | 43,988 | 100 | 132 | 170,301 | 100 | 95 | 215,129 | 100 | 99 |
| アナログ | | 邦 | 6 | 0 | 3,000 | 7 | 0 | 8,309 | 75 | 0 | 319 | 99 | 0 | 329 |
| | | 洋 | 10 | 0 | 14 | 21 | 0 | 14 | 151 | 0 | 42 | 279 | 0 | 39 |
| | | 計 | 16 | 0 | 21 | 29 | 0 | 19 | 226 | 0 | 59 | 377 | 0 | 51 |
| 合計 | | 邦 | 23,650 | 73 | 109 | 30,953 | 70 | 129 | 129,950 | 76 | 91 | 155,331 | 72 | 96 |
| | | 洋 | 8,528 | 27 | 135 | 13,064 | 30 | 139 | 40,577 | 24 | 109 | 60,175 | 28 | 111 |
| | | 計 | 32,178 | 100 | 115 | 44,017 | 100 | 132 | 170,526 | 100 | 95 | 215,506 | 100 | 99 |

表2．オーディオテープ

| | | 6月実績 数量 | 構成比 | 前年同月比 | 金額 | 構成比 | 前年同月比 | 1994年（1月～6月）累計 数量 | 構成比 | 前年同期比 | 金額 | 構成比 | 前年同期比 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| カセット | 邦 | 2,351 | 99 | 93 | 2,125 | 98 | 93 | 13,666 | 99 | 80 | 11,715 | 98 | 82 |
| | 洋 | 29 | 1 | 77 | 36 | 2 | 70 | 190 | 1 | 59 | 224 | 2 | 55 |
| | 計 | 2,380 | 100 | 92 | 2,162 | 100 | 93 | 13,856 | 100 | 80 | 11,939 | 100 | 81 |
| カートリッジ | 邦 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 洋 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 邦 | 2,351 | 99 | 93 | 2,125 | 98 | 93 | 13,666 | 99 | 80 | 11,715 | 98 | 82 |
| | 洋 | 29 | 1 | 77 | 36 | 2 | 70 | 190 | 1 | 59 | 224 | 2 | 55 |
| | 計 | 2,380 | 100 | 92 | 2,162 | 100 | 93 | 13,856 | 100 | 80 | 11,939 | 100 | 81 |

表3．複合型ＣＤ（ＣＤグラフィックス、ＣＤ－Ｉ、ＣＤ－ＲＯＭなど）

| | 6月実績 数量 | 構成比 | 前年同月比 | 金額 | 構成比 | 前年同月比 | 1994年（1月～6月）累計 数量 | 構成比 | 前年同期比 | 金額 | 構成比 | 前年同期比 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 邦盤 | 3,389 | 100 | 799 | 2,764 | 99 | 607 | 9,949 | 100 | 358 | 8,991 | 100 | 326 |
| 洋盤 | 12 | 0 | 52 | 27 | 1 | 249 | 21 | 0 | 23 | 37 | 0 | 113 |
| 合計 | 3,401 | 100 | 762 | 2,792 | 100 | 599 | 9,970 | 100 | 348 | 9,029 | 100 | 324 |

表4．ビデオレコード

| | 6月実績 数量 | 構成比 | 前年同月比 | 金額 | 構成比 | 前年同月比 | 1994年（1月～6月）累計 数量 | 構成比 | 前年同期比 | 金額 | 構成比 | 前年同期比 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ディスク | 1,575 | 54 | 114 | 4,420 | 40 | 95 | 8,564 | 52 | 105 | 25,726 | 44 | 94 |
| テープ | 1,365 | 46 | 103 | 6,582 | 60 | 114 | 7,942 | 48 | 107 | 33,092 | 56 | 103 |
| 合計 | 2,940 | 100 | 108 | 11,002 | 100 | 105 | 16,507 | 100 | 106 | 58,818 | 100 | 99 |

表5．オーディオ／ビデオ／ＡＶ複合型レコード合計

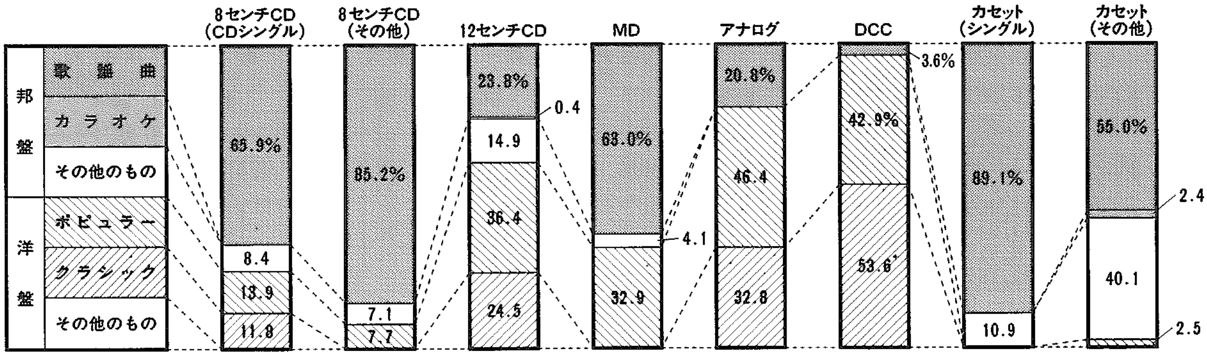
| | 6月実績 数量 | 構成比 | 前年同月比 | 金額 | 構成比 | 前年同月比 | 1994年（1月～6月）累計 数量 | 構成比 | 前年同期比 | 金額 | 構成比 | 前年同期比 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| オーディオ | 34,558 | 84 | 113 | 46,179 | 77 | 129 | 184,382 | 87 | 94 | 227,446 | 77 | 98 |
| 複合型CD | 3,401 | 8 | 762 | 2,792 | 5 | 599 | 9,970 | 5 | 348 | 9,029 | 3 | 324 |
| ビデオ | 2,940 | 7 | 108 | 11,002 | 18 | 105 | 16,507 | 8 | 106 | 58,818 | 20 | 99 |
| 合計 | 40,898 | 100 | 121 | 59,972 | 100 | 129 | 210,858 | 100 | 98 | 295,293 | 100 | 100 |

備考　1．本年実績は、会員会社「27社」の集計である。
　　　2．単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

# 1994年1～6月新譜数

1994年（平成6年）の1～6月に発売された新譜数を集計し，その構成比率を図示しました。

## 図1　オーディオレコード新譜数構成比



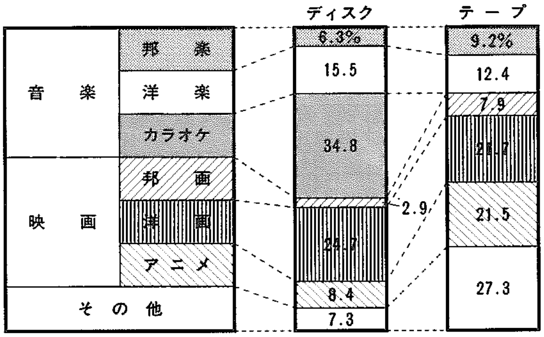

## 表1　オーディオレコード／複合型レコード（CD—G・CD—Iなど）新譜数

単位：枚(巻)

| 種類 | | | 8センチCD CDシングル | 8センチCD その他 | 12センチCD | MD | アナログ | DCC | カセット シングル | カセット その他 | 複合型 CD-G | 複合型 その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 邦盤 | 歌謡曲 | 演歌 | 68 | 216 | 261 | 3 | 0 | 0 | 213 | 200 | 0 | 0 | 961 |
| | | ポップス歌謡曲 | 151 | 89 | 270 | 3 | 3 | 0 | 49 | 71 | 1 | 0 | 637 |
| | | ニューミュージック | 378 | 163 | 994 | 40 | 23 | 1 | 25 | 33 | 2 | 2 | 1,661 |
| | | 小計 | 597 | 468 | 1,525 | 46 | 26 | 1 | 287 | 304 | 3 | 2 | 3,259 |
| | 軽音楽 | | 4 | 3 | 248 | 1 | 0 | 0 | 2 | 54 | 0 | 0 | 312 |
| | 民謡・純邦楽 | | 3 | 7 | 64 | 0 | 0 | 0 | 23 | 50 | 0 | 0 | 147 |
| | 教育・教材・童謡・童話 | | 1 | 7 | 105 | 0 | 0 | 0 | 3 | 74 | 0 | 1 | 191 |
| | アニメーション | | 35 | 17 | 300 | 2 | 0 | 0 | 6 | 35 | 0 | 0 | 395 |
| | クラシック | | 1 | 0 | 169 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 171 |
| | カラオケ | | 0 | 0 | 24 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | 141 | 65 | 243 |
| | その他 | | 32 | 5 | 67 | 0 | 0 | 0 | 1 | 8 | 0 | 10 | 123 |
| | 邦盤計 | | 673<br>(116) | 507<br>(124) | 2,502<br>(94) | 49<br>(78) | 26<br>(35) | 1<br>(2) | 322<br>(74) | 539<br>(93) | 144<br>(351) | 78<br>(—) | 4,841<br>(101) |
| 洋盤 | ポピュラー | ロック・ディスコ | 84 | 34 | 1,245 | 15 | 0 | 3 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1,384 |
| | | ジャズ・フュージョン | 6 | 3 | 567 | 0 | 58 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 643 |
| | | ポピュラーソング | 35 | 3 | 275 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 318 |
| | | 映画音楽 | 0 | 1 | 112 | 7 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 124 |
| | | その他 | 1 | 1 | 133 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 140 |
| | | 小計 | 126 | 42 | 2,332 | 24 | 58 | 12 | 0 | 14 | 1 | 0 | 2,609 |
| | クラシック | | 107 | 0 | 1,573 | 0 | 41 | 15 | 0 | 0 | 15 | 0 | 1,751 |
| | その他 | | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| | 洋盤計 | | 233<br>(160) | 42<br>(382) | 3,906<br>(97) | 24<br>(120) | 99<br>(82) | 27<br>(15) | 0<br>(—) | 14<br>(156) | 16<br>(—) | 1<br>(—) | 4,362<br>(102) |
| 合計 | | | 906<br>(125) | 549<br>(130) | 6,408<br>(96) | 73<br>(88) | 125<br>(64) | 28<br>(12) | 322<br>(74) | 553<br>(94) | 160<br>(390) | 79<br>(—) | 9,203<br>(101) |

備考：(　)内は対前年比。

## 図2　ビデオレコード新譜数構成比




## 表2　ビデオレコード新譜数

単位：枚(巻)

| 種類 | | ディスク | テープ | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 音楽 | 邦楽 | 74 | 123 | 197 |
| | 洋楽 | 182 | 165 | 347 |
| | カラオケ | 409 | 0 | 409 |
| 映画 | 邦画 | 34 | 105 | 139 |
| | 洋画 | 290 | 289 | 579 |
| | アニメ | 99 | 286 | 385 |
| その他 | | 86 | 363 | 449 |
| 計 | | 1,174<br>(94) | 1,331<br>(96) | 2,505<br>(95) |

備考：(　)内は対前年比。